

2022(令和4)年度9月委員会

1. 報告

1. 会長：協議会活動検討会(第1回)について
2. 総務部：「館内研修について」(9/13)、「クリーン大作戦」(9/21)、
監査(上半期)(10/18)について
3. 地域交流部：アート展(9/24.25)、マルシェ&ハロウィン子どもまつり(10/30)
アフタヌーンコンサート(11/5)について
4. 事業企画部：防災フォーラム(10/23)について
5. 広報部：わたしのおぎくぼ、ホームページについて
6. 道の愛称p:
7. 荻窪の記憶p:「荻窪の記憶V～荻窪100年の歴史」第3、4、5回打合せ結果
8. 事務局：B2倉庫、第7倉庫について
9. その他:

2. 協議

1. (会長)
2. (総務)
3. (地交)
4. (事企)
5. (広報)
6. (事務局)次期会長の選出スケジュール(案)について

3. 事務局から

4. その他

配布資料

1. 2022(R4)10月、11月予定表
2. (会長)9月役員会記録
3. (地交)マルシェ&ハロウィン子どもまつりチラシ(案)
4. (地交)地域ふれあいアフタヌーンコンサート(案)
5. (事企)アンケート(アメリカ文学は夫婦愛から始まる)
6. (事企)防災フォーラムチラシ
7. (事企)防災フォーラム実行委員会議事録(8/30)
8. (事企)防災フォーラムSUG文案
9. (事企)「荻窪の記憶V～荻窪100年の歴史」第3回打合せ結果(6/16)、
第4回打合せ結果(7/14)、第5回打合せ結果(9/14)
10. (広報)協議会の行事・イベント・講座等の広報部担当一覧表
11. (広報)わたしのおぎくぼNo.360(12月1月号)レイアウト(素案)
- 11-1 (広報)ホームページ
12. (会長)第1回協議会活動検討会討議状況メモ
13. (事務局)令和5年度会長選出スケジュール(案)
14. (事務局)想定されるセンター関連施設整備予定、改修期間を経験した
協議会の活動状況

2022年10月予定

	午前	昼休み	午後
1 土			<事業企画部> 本田 初心者のための俳句教室 3/4 講師：野崎海芋 13：30～15：30 第4・5集会室
2 日			<事業企画部> 菊野 文学講座「与謝野晶子と源氏物語」 講師：神野藤昭夫 2/2 13：30～15：00 第1・2集会室
3 月			
4 火	部会10:00～ 第1・2集会室 <地域交流部> 萬 マルシェ実行委員会 11：00～ 第2集会室		
5 水			
6 木			<事業企画部> 弘中 武蔵野の自然探訪「善福寺池の四季」第2回 講師：星野義延、星野順子 13時30分～善福寺公園上の池ポート乗り場前集合
			<事業企画部> 染谷 いきいき朗読教室 1/4 講師：岡掇子 13：30～15：30 (本天沼区民集会所)
7 金			
8 土			<事業企画部> 本田 初心者のための俳句教室 4/4 講師：野崎海芋 13：30～15：30 第4・5集会室
9 日			
10 月	スポーツの日 (休館日)		
11 火	部会10:00～ 第1・2集会室 ◎「区広報紙」11/15号原稿事務局へ切 <総務部> 茂木 協議会活動検討会 11：30～ 第1集会室		
12 水			
13 木			<事業企画部> 染谷 いきいき朗読教室 2/4 講師：岡掇子 13：30～15：30 (本天沼区民集会所)
14 金			
15 土			
16 日			
17 月			
18 火	部会10:00～ 第1・2集会室 ◎「区広報紙」12/15号原稿事務局へ切 <総務部> 大矢・船津 会計監査 (上半期) 10:30～ <事業企画部> 染谷・弘中 防災フォーラム委員説明会 11：30～ 第1集会室		<総務部> 大矢・船津 役員会 13:00～ 打合せ室
19 水			

2022年10月予定

		午前	昼休み	午後
20	木	(館内整理日)		<事業企画部>染谷 いきいき朗読教室 3/4 講師：岡摂子 13：30～15：30 (本天沼区民集会所)
21	金	◎「区広報紙」11/15号校正日		
22	土			<事業企画部>染谷・弘中 防災フォーラム前日準備
23	日	<事業企画部>染谷・弘中 防災フォーラム		
24	月	(休館日)		
25	火	部会10:00～ 第1・2集会室		<総務部>大矢・船津 委員会 13：00～ 第1・2集会室
		<地域交流部>萬 ふれあいコンサート実行委員会 11：00～ 第2集会室		
26	水			
27	木			<事業企画部>染谷 いきいき朗読教室 4/4 講師：岡摂子 13：30～15：30 (本天沼区民集会所)
28	金	◎「区広報紙」11/15号校正日		
29	土			<地域交流部>萬 マルシェ & ハロウィン子どもまつり 前日準備
30	日	<地域交流部>萬 マルシェ & ハロウィン子どもまつり 10：00-0：30		
31	月			
		午前	昼休み	午後

2022年11月予定

		午前	昼休み	午後
1	火	部会10:00～ 第1・2集会室 ＜地域交流部＞萬 ふれあいコンサート実行委員会 11:00～ 第2集会室		
2	水			
3	木			
4	金			
5	土	＜地域交流部＞萬 ふれあいアフタヌーンコンサート準備		＜地域交流部＞萬 ふれあいアフタヌーンコンサート 13:30-15:00
6	日			＜事業企画部＞惠羅 東大アプリで考える首都直下地震72時間 講師：田中淳 13:30～15:00 第1・2集会室
7	月			
8	火	部会10:00～ 第1・2集会室 ＜総務部＞茂木 協議会活動検討会 11:30～ 第1集会室		
9	水	＜事業企画部＞堀川 ワイン1つでできるフランス料理講座 講師：天下井廉人 10:30～12:45 料理室		
10	木			
11	金			
12	土			
13	日			
14	月	(休館日)		
15	火	部会10:00～ 第1・2集会室 ◎「区広報紙」1/15号原稿事務局へ切		
16	水			
17	木			
18	金			
19	土			
20	日	(館内整理日)		
21	月			
22	火	部会10:00～ 第1・2集会室 ◎「区広報紙」12/15号校正日		＜総務部＞大矢・船津 役員会 13:00～ 打合せ室
23	水			
24	木			＜事業企画部＞堀川 大人のワイン講座 1/2 講師：上田紀子 料理室 13:30～15:00
25	金	◎「区広報紙」11/15号校正日		
26	土	＜事業企画部＞染谷・菊野 荻窪健康サロン 準備		＜事業企画部＞染谷・菊野 荻窪健康サロン 13:00-16:00
27	日			＜事業企画部＞染谷 秋を楽しむ木の実工作教室 講師：山室京子 13:00～15:00 工芸室
28	月	(休館日)		
29	火	部会10:00～ 第1・2集会室 広報紙「わたしのおぎくぼ」No. 360 12月1月号発行配布		＜総務部＞大矢・船津 委員会 13:00～ 第1・2集会室
30	水			
		午前	昼休み	午後

日時：2022年9月21日（水）13時～15時

場所：打合せ室

出席者：茂木会長（記録）、萬副会長・地域交流部長、恵羅副会長・事業企画部長、横尾
広報部長、船津総務部長副部長；吉川事務局長、岩井事務局員、鈴木事務局員

1. 報告

1. 会長：協議会活動検討会について（議事録を今後まとめ）
2. 総務部：館内研修について（9/13、1時）「クリーン大作戦」（9/21、11時）について
監査（上半期）（10/18）について
3. 地域交流部：アート展（9/24.25）準備状況、開催日の段取り・各委員の参画；
マルシェ&ハロウィン子どもまつり（10/30）準備状況；
アフタヌーンコンサート（11/5）上に同じ
4. 事業企画部：文学講座（9/15）アンケート紹介（今後のための参考意見も書かれてい
た）；防災フォーラム（10/23）準備状況・SUGカード最終まとめ
5. 広報部：「わしのおぎくぼ」No.359 発行予定、No.360 レイアウト案、
ホームページ改訂状況。
6. 道の愛称 p：
7. 荻窪の記憶 p：「荻窪の記憶V～荻窪100年の歴史」第5回打合せ結果（9/14）
添付資料参照。
8. 事務局：B2倉庫、第7倉庫について；地交部長より確認と提案、主として
「まつり」にて使用の一部器材の使用可能性、性能劣化を踏まえ、最終決定。
9. その他：

2. 検討・協議

1. （会長）
2. （総務）
3. （地交）
4. （事企）
5. （広報）（会長）（各部）次号「わたしのおぎくぼ」には委員会募集を掲載するタイミ
ングとなるが、委員募集の趣旨・広報の書き方が難しい段階にある。理由は、①基本的
にはらんでいる委員のタスク・負荷という課題、②センター改修スケジュールとの関係で協
議会活動をどう定めていくかという課題とも密接に関係。22期委員にはできるだけ次期委
員としても希望を募りたいところ（延長には委員会決定が必要）。それを踏まえて新委員へ
のリクルート戦略を立てる必要がある。広報向けとしては、センター改修時の活動内容に
ついておおよその説明が必要かも知れない。
6. （事務局）次期会長の選出スケジュールについて

3. 事務局から

4. その他

- 配布資料
1. 2022 (R4) 10月、11月予定表
 2. (地交) マルシェ&ハロウィン子どもまつりチラシ (案)
 3. (地交) 地域ふれあいアフタヌーンコンサート (案)
 4. (事企) アンケート (アメリカ文学は夫婦愛から始まる)
 5. (事企) 防災フォーラムチラシ
 6. (事企) 防災フォーラム実行委員会議事録 (8/30)
 7. (事企) 防災フォーラム SUG 文案
 8. (事企) 「荻窪の記憶V～荻窪100年の歴史」第5回打合せ結果 (9/14)
 9. (広報) わたしのおぎくぼ No.359 校了原稿
 10. (広報) 協議会の行事・イベント・講座等の広報部担当一覧表
 11. (広報) わたしのおぎくぼ No.360 (12月1日号) レイアウト (素案)
 12. (事務局) 令和5年度会長選出スケジュール (案)

マルシェ&ハロウィン 子どもまつり

日時:10月30日(日)午前10:00~12:30

会場:荻窪地域区民センター

買い物用の袋を
お持ちください

笑顔あふれる場所づくり

ポップコーン

クッキー・パウンドケーキ

和菓子

杉並産新鮮野菜

パン

花販売

綿菓子



飲料

苗木配布:午前10:10より 150本(一家族1本)
「苗木で募金」にご協力をお願いします



子育て支援「対象年齢:0歳~3歳未満児」
・親子で楽しむ「木のおもちゃ」あそび
受付:先着順(各回共10組親子)
2回の入れ替え制(整理券を配布)
時間:10:15~11:15・11:30~12:30



ハロウィン撮影会
ハロウィンの仮装で撮影しよう

お願い

- ・検温・手指の消毒
- ・マスク着用・三密の回避

館内での飲食はできません
(水分補給は可)



お知らせ・問い合わせ先
コロナ感染症の感染状況により、内容が変更又は延期・中止になる場合があります
事前に協議会HPや電話などでご確認ください。住所:杉並区荻窪2-34-20 Tel.03-3398-9127
HP <https://ogikubokyougikai.sakura.ne.jp/>



主催:荻窪地域区民センター協議会

地域ふれあいアフターヌーンコンサート

日時:2022年11月5日(土)午後1時30分~3時

場所:荻窪地域区民センター 1F談話コーナー(1時開場)

入場料:無料(定員60名・先着順)



出演

1部:吉久 亜紀トリオ 午後1時30分~午後2時10分



バイオリン:吉久 亜紀



ベース:三浦 トオル



ギター:中鉢 洋夫

曲目:Bach「無伴奏パルティータの3番から プレリユード」

Bach「G線上のアリア」

映画音楽メドレー・日本民謡メドレー

シャルル・トルネ作曲「メニルモンタン」

ピアソロ「鮫」



(10分間の休憩)

2部:あきから 午後2時20分~午後3時



ボーカル:森下 亜希子



バイオリン:吉久 亜紀



チェロ:富樫 亜紀

曲目:ビートルズ「LET IT BE」

Bach「無伴奏バツハチェロ組曲第1番からプレリユード」

モンティ「チャルダッシュ」

Dahlia オリジナル曲「話しすぎた私の記憶」

CMソング「アマポーラ」「My Favorite Things」

あきメドレー



*1部、2部とも当日演奏曲が変更されることがあります

お知らせ・問い合わせ先

コロナの感染状況により、内容が変更又は中止になる場合があります
事前に協議会 HP や電話などでご確認ください

住所:杉並区荻窪 2-34-20 TEL:03-3398-9127

<https://ogikubokyougikai.sakura.ne.jp/>

お願い

- ・検温
- ・手、指の消毒
- ・マスク着用
- ・三密注意



主催:荻窪地域区民センター協議会

文学講座：アンケート結果

講座名：文学講座「アメリカ文学は夫婦愛から始まる」(渡辺信二・講師)

2022年9月15日(木) 13:30~15:00 解答者数=21人

1. 1) 男性=3人 2) 女性=18人
2. 50代=1、60代=7、70代=9、80代以上=4
3. この講座を何でお知りになりましたか(該当するもの全て):
 - 1) 区報「すぎなみ」=16、 2) 「わたしのおぎくぼ」=3、
 - 3) ポスター=1、 4) ホームページ=0、
 - 5) その他(知人より=1、担当講師より=1、Eメール=1)
4. 荻窪地域区民センターの開催する講座や講演に、今回も含めこれまで何回参加されましたか?
 - 1) 1回=7、 2) 2回=3、 3) 3回以上=11
5. 今回と同様の文学講座に、これまで何回参加されましたか?
 - 0) 初めて=5、 1) 1回=11、 2) 2回=2、 3) 3回以上=3
6. 今回の講座を受けられていかがでしたか:
 - 1) 満足した=9、 2) 普通=5、 3) 物足りない=5、 4) 無回答=2

裏面へ続きます →

7. 満足なされた方のご感想をお聞かせ下さい：

- ※詩人、北米と英国の歴史等、充実したお話でした。興味深く楽しませていただきました。
- ※詳しいお話をとにかく面白く拝聴しました。
- ※植民地など、知らないことを知った。
- ※初期のアメリカ文学に初めて触れてとても新鮮でした。ひとりの若い(?)女性の心からの想いが、私とは違って興味深かった。アメリカの歴史にも話が及び楽しかったです。
- ※詩の時代的背景や当時の社会状況が良くわかり、理解が深まりました。
- ※分かりやすい話でした。
- ※アメリカの歴史的な理由により社会状況がすこしわかった。
- ※アメリカ文学は初めてであった。夫婦愛にもアメリカ的な感じがする。
- ※詩を時代背景も含めて豊かに伺うことができた。
- ※題材が面白かったです。アメリカという国を理解する上で有益でした。

8. 物足りなかった理由をお聞かせ下さい：

- ※もう少し意見交換したかったです。
- ※アメリカ史に余り知識がないので理解に苦しんだ。
- ※もっと話が聞けなかった(ママ)。
- ※2~3回かけて、もう少しエピソードが聞きたい。
- ※先生の声が聞き取りにくかった(先生がマイクを常に使用しなかったため)。質問を聞いたがレスポンスが弱かった印象がある。
- ※具体的な話を詳しくしてほしかった。マスクをしていると声がききとれない。
- ※講義の内容が講座の主題と会わず、「アメリカ文学の原型と個人主義や夫婦愛」の事があまり聞けず残念だった。参加者からの質問へのしっかりした答えがなかった。

9. 講座の運営について気付かれたことがあればお聞かせ下さい：

- ※すばらしいスタッフの方たちに感謝いたします。
- ※連続講座が必要。
- ※いろいろご準備いただきありがとうございました。
- ※コロナ禍で大変だったと思います。ありがとうございました。
- ※講師はピンマイク(ワイヤレスマイク)にしてはどうでしょうか。
- ※会場が寒かったです。
- ※窓を開けて頂いて安心しました。まだコロナがおさまっていないので。

10. 今後どのような講座の開催を希望されますか：

- ※「源氏物語など古文、外国文学、詩」；「スタインベック、マーク・ウェイン等」；「音楽」；歴史や文学等様々なジャンル」；「単発ではなく、月(毎週)4回くらいの講座を希望」；「歴史・文学の講座」；「米文学初期の頃の作品は余り馴染みがないので、今回のような講座があれば嬉しい」；「日本近代(森鷗外)文学講座」；「心理学」；「中国や韓国などアジアの国を取り上げて下さい」；「イタリア絵画(美術史、シェークスピア文学)」；「古典」；「英語」；「何回かシリーズで学び直したい」。



防災フォーラム 2024

資料 6

～障害者と考える地域の防災～

参加費：無料

日程：令和4年10月23日(日)
時間：午前10時～午後3時30分
会場：荻窪地域区民センター

協力団体等
各町会・各防災会
NPO・障害当事者
障害支援者・支援団体
各震災救援所運営連絡会

プログラム1：防災講演会(午前10時～午前12時)

- | | | |
|--|--|---------------------------|
| ① (10:00～10:20)
障害によって災害時の対応はどう違うのか
講師：杉並区障害者団体連合会
高橋 博 氏 | ② (10:20～10:40)
障害者の在宅避難確保をめざす立場から
講師：(一社)ほっとけない連代表理事
佐藤 弘美 氏 | |
| ③ (10:40～11:00)
医療的ケア児・者支援の立場から
講師：NPO みかんぐみ代表理事
村 一浩 氏 | ④ (11:00～11:20)
杉並区の防災対策
講師：防災課長
土田 昌志 氏 | ⑤ (11:20～12:00)
全体質疑応答 |

プログラム2：防災体験ゲーム(午後1時～午後3時)



- お願い
- ・検温
 - ・手、指の消毒
 - ・マスク着用
 - ・三密回避

お知らせ

コロナの感染状況により、内容が変更又は中止になる場合があります
事前に協議会 HP や電話などでご確認ください

主催：荻窪地域区民センター協議会

〒167-0051 杉並区荻窪 2-34-20 TEL03-3398-9127

<https://ogikubokyougikai.sakura.ne.jp/>

【参加申し込み方法】定員：各回10名
往復はがきまたは協議会 HP より

*往復はがきの場合

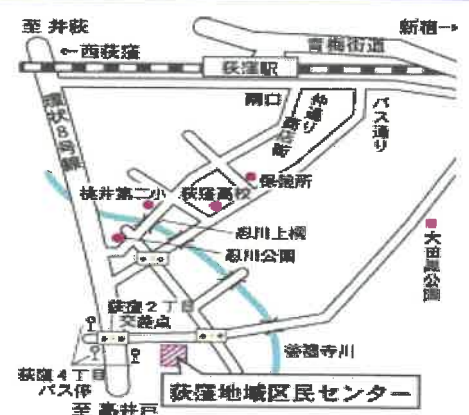
- ①行事名 と希望プログラムの番号記入 (プログラム1か2または両方可)
- ②住所 ③参加者氏名 (ふりがな)
- ④電話番号 を明記の上
〒167-0051 杉並区荻窪 2-34-20
荻窪地域区民センター協議会宛に申し込み

*協議会 HP の場合

<https://ogikubokyougikai.sakura.ne.jp/>
へアクセスし、Web メールで申し込み
◎締め切り：10月9日(日)

・申し込み多数の場合は抽選となります
☆結果のお知らせ

- ・はがきの方は返信はがきで通知
- ・協議会 HP の方はメールで通知



作成日:令和4年9月2日(金)

件 名	第5回防災フォーラム実行委員会
日 時	8月30日(火) 午後3:00~3:45
場 所	荻窪地域区民センター 第1集会室
出席者	染谷委員 茂木会長、恵羅委員 杉原委員、上田委員、杉浦委員、 吉川事務局長、岩井事務局長
書 記	吉川事務局長
資 料	SUG カード文案、各会場割当表、防災フォーラムチラシ

※染谷委員が司会進行。

1 SUG カード文案について

染谷実行委員長が説明

- ①文案は、25例示しているが、90分の中で検討する内容として10例位に絞り込むこととする(1枚を10分位で討議)
- ②7, 8人を1グループとして行うことより、具体的にイメージがつかみやすい内容とする。委員は、1グループに2名入り、SUGで討議を進める。
- ③各実行委員に文案の検討をお願いする。

2 開催場所の検討

- ① 講演会 地下小体育室
- ② SU ゲーム 2階第1・2・3・4・5・工芸室
- ③ 昼食 和室のほか、イス席や車いす利用者用の部屋を確保する。

3 防災課への依頼

- ① 災害時対応用品展示 1階談話コーナー
- ② 参加者への記念品の協力
- ③ 実際の災害時における障害者対応例の紹介

4 今後の予定

- ① 9月20日(火) 休館日 小体育室での準備テスト
- ② 9月27日(火)PM3時~ 実行委員会
- ③ 10月18日 全体オリエンテーション

※量子電磁力学の発展に寄与した功績で1965年ノーベル物理学賞を受賞

・宮田輝（アナウンサー）1921年12月25日～1990年7月15日（68歳）

※1953年から1973年まで通算15回にわたってNHK紅白歌合戦の司会を務めた

※1974年にNHKを退職、同年の参院選に自民党から立候補、トップ当選。参院議員（3期）を務めながらフリーアナウンサーとしても活躍。参院議員在職中に死去

※荻外荘そばのNHKアパート（今はなし）に住む

・竹下彦一（柔道家、詩人）

※「カルバトスの会」の中心メンバー、日大二高体育教師

・安藤利吉（陸軍大将）

※名前の利吉は未確定。安藤名の陸軍大将は利吉しかいない？

担当・松崎

(IV) 消えた風景・失われた記憶

松井案では写真構成とする案だったが、新倉氏が充実すべきだとして以下の構成に戻す（パネル各2枚、計6枚）

1 荻窪の水環境（善福寺川、千川用水分水、天水田圃、境堀）

担当・丸川

2 荻窪の名建築（荻窪電話局、市川邸、川原邸など）

担当・木村

3 荻窪トピックス（長屋門、映画館、ラーメン店、ローラスケート場など）

担当・未定

※関連する古い写真を集めるため「わたしのおぎくぼ」次号で募集

以上パネルは（Ⅰ）約25枚、（Ⅱ）5枚、（Ⅲ）7枚、（Ⅳ）6枚で計43枚程度

※次回打ち合わせは9月8日（木）10：00～

区民センター打ち合わせ室にて

（以上）

SUGカード文案

1. 日曜日、午前5時25分 杉並区に「震度7」の激震 今までに経験したことがない 激しい揺れである
 - ・一部で同時多発火災発生
 - ・家屋多数倒壊
 - ・インフラの断裂多数→杉並区
2. 火曜日の朝、2日が経過し救援所の運営も少し落ち着いてきた 自宅避難していた人たちから、救援所に支援を求める声も聞こえ始めた
3. 近隣で一人住まいの障害者(視覚・聴覚・知的・車いす…)の方の姿が見えないので心配だ、との報告が避難者からありました。救援所として何か対応しますか
 - A) 氏名・住所・障害の状況など情報を書き留め、掲示板に貼る
 - B) 捜索部隊を編成し探しに行く
 - C) そのような情報は管理できないので何もしない
4. 発達障害(感覚過敏があり、集団の中に長時間いることはむずかしい)の方が、家族と避難してきました。個室またはテントで仕切れる場所を希望しています
 - A) 二次救援所または地域の福祉救援所に相談する
 - B) 教室か校庭にテントを設営して対応する
 - C) 特別扱いはしない
5. 視覚障害者の方から、避難所全体のレイアウトが分かりにくく、夜中に一人でトイレへ行くようなとき、経路がわかるか不安だとの申告がありました
 - A) 視覚障害の方用に部屋の出入り口付近に場所を取る
 - B) 周りの方にガイドしてもらうようお願いしておく
 - C) 特別扱いはしない
6. 避難所に車椅子の子どもを連れた親子がやってきました。昼夜を問わず1時間に1回程度、痰の吸引が必要なため、電源(コンセント)の近くにいたいと希望しています。希望が叶えられますか？
 - A) 希望を聞いて電源コンセントの近くの場所の家族と変わってもらおう
 - B) 停電時のことも考慮して非常電源を用意する
 - C) 対応不可とし、救援隊本体(地域センター)または対策本部に相談する
7. 重度の認知症と思われる方が、避難所の入り口近辺を徘徊していると報告がありました。ご家族の方も見当たらないようです
 - A) ボランティアを募集し、対応を依頼する
 - B) 運営組織の中に、課題対応部隊を明確に組織しておく
 - C) 特に何もしない

8. 聴覚障害の家族が避難しています。食事の案内など情報が伝わらず、その家族はいつも出遅れて列の後ろのほうに並んでいます。

- A) 情報が全員に伝わるよう、いろいろな手段で伝えるようにする
- B) 周囲の避難者に情報伝達をお願いする
- C) 特に何もしない

9. 車いす生活です。段差へのスロープの設置、体育館などでの移動スペースの確保、誰でもトイレの設置など希望されています

- A) できる限り対応できるように、平常時からスロープの設置など準備を進めておく
- B) 障壁となると考えられるところを当事者と検討し対策を打つ
- C) 支援要員（ボランティア）を組織し、ニーズを幅広く吸い上げ対応マニュアルを作成する

10. 次の課題について、時間の限り話し合ってください

①食物アレルギーの対策は

- ・どこまでできていますか？
- ・どこまで必要でしょうか？

②震災救援所では

- ・障害者の受け入れについてどこまで準備していますか？
- ・障害者としてはどのような準備をしてほしいですか？

③在宅避難している人をどう把握し、どのように支援しようと考えていますか？

◎「荻窪の記憶 V～荻窪 100 年の歴史」第 3 回打ち合わせ結果

日時：2022 年 6 月 16 日（木）午前 10 時～12 時

場所：区民センター打ち合わせ室

出席：サポーター・松井、新倉、丸川、木村

区民センター協議会委員・西村、菊野、伊藤、横尾、松崎

① パネル展の日程と冊子配布

<区民センターでの展示>

12 月 13 日（火）区民センター一階ロビーでの区政 90 周年展示の終了・撤収に伴い、パネル展「荻窪の記憶 V」を展示。1 月 20 日頃まで。

<郷土博物館分館での展示>

1 月 21 日（土）から 2 月 26 日（日）までの展示は OK。分館の学芸員・市川美実乃さんの話では、3 月いっぱい展示予定はないので、3 月下旬まで展示を延長できるか、関係者に確認することのこと。

<冊子「荻窪の記憶 IV」の配布>

広報部・横尾部長によると、冊子は 1000 部印刷。5 月 27 日時点で町会や郷土博物館など関係先に計 767 部配布済み。残部約 230 部は今後、無駄な配布はせず、年度末の総集編発行までもたせる方針。

② 「荻窪の記憶」最終編の構成

松井氏が新倉案をもとに以下のようなパネル展最終編の構成を提示。

- ・タイトル案は「荻窪の記憶 V～駅・商店街・昭和の激動～」
- ・テーマは、これまで触れてこなかった荻窪駅周辺をはじめとする地域、戦中・戦後という時間をカバーし、新たな角度から町の発展を振り返る。
- ・構成

(I) 駅（鉄道）・商店街・団地・・・インフラから町の発展をたどる

○駅（鉄道）（JR、都電、地下鉄、南口、北口、西口の開設、複々線化、踏切、ラッシュ・・・） 担当・新倉

○商店街 ・南口（お屋敷町と商店街） 担当・西村・菊野

・北口（強制疎開→闇市→マーケット→タウン・セブン） 担当・丸川・松井

・川南・旧環八（盛衰） 担当・新倉

- 団地 田んぼから生まれた戦後の象徴 担当・木村
- (II) 昭和の激動と荻窪・・・住宅地としては珍しく激動の舞台に
- ・荻窪にもあった2・26事件 担当・松井
 - ・荻外荘会談と三国同盟
 - ・空襲（疎開） 担当・菊野
 - ・東京裁判と近衛、橋田の自決
 - ・原水禁署名運動 担当・松井
- (III) 消えた風景・失われた記憶
- 松井案では写真構成とする案だったが、新倉氏が充実すべきだとして以下の構成に戻す（パネル各2枚、計6枚）
- 1 荻窪の水環境（善福寺川、千川用水分水、天水田圃、境堀）
担当・丸川
 - 2 荻窪の名建築（荻窪電話局、市川邸、川原邸など） 担当・木村
 - 3 荻窪トピックス（長屋門、映画館、ラーメン店、ローラスケート場など）
- (V) ゆかりの人々
- ・棟方志功、鈴木信太郎、山口泉、近藤富枝、三谷十糸子、池田淑人、明田川孝、小茂田青樹、明石亀太郎 担当・新倉
 - ・安藤、江田三郎、竹下彦一、朝永振一郎、宮田輝 担当・松崎

③ その他

・木村さんが候補に挙げた「失われた建物」のうち、1934年建築・1971年解体の菊野邸（荻窪3丁目）、1923年建築の荻窪歯科診療所（荻窪4丁目）、1944年建築・1991年解体の市川邸（荻窪3丁目）を取り上げる。

他に塚本総業の塚本邸や西田小、杉並公民館、杉並高等家政女学校なども対象となる。

・繁田園の兼田さんが描いた昭和30年頃の荻窪駅周辺図はパネル1枚で展示する

④ 次回の打ち合わせ

7月14日（木）午前10時～、区民センター打ち合わせ室

各担当は次回打ち合わせで内容の概要、パネル枚数などを提示すること

（以上）

◎「荻窪の記憶 V～荻窪 100 年の歴史」第 4 回打ち合わせ結果

日時：2022 年 7 月 14 日（木）午前 10 時～12 時

場所：区民センター打ち合わせ室

出席：サポーター・松井、新倉、丸川、木村

区民センター協議会委員・西村、菊野、伊藤、松崎

①「荻窪の記憶」最終編の担当

松井氏が新倉案をもとに作成したパネル展最終編の構成に従って担当者を割り当て。

(I) 駅（鉄道）・商店街・団地・・・インフラから町の発展をたどる

○駅（鉄道）（JR、都電、地下鉄、南口、北口、西口の開設、複々線化、踏切、ラッシュ・・・） 担当・新倉

※新倉氏はパネル 4～5 枚で構成するとしたが、松井氏が倍の 10 枚程度が必要と主張、新倉氏も 10 枚で構成することを了承

○商店街 ・南口（お屋敷町と商店街） 担当・西村・菊野
※1930 年代の地図を含めパネル 5 枚程度で構成

・北口（強制疎開→闇市→マーケット→タウン・セブン） 担当・丸川・松井

※闇市からタウン・セブン誕生までの北口の変遷をパネル 5～6 枚で構成

・川南・旧環八（盛衰） 担当・新倉
※パネル 2 枚で構成

○団地 田んぼから生まれた戦後の象徴 担当・木村

※戦後の住宅難を解消するため初めての集合住宅（団地）が 1958 年に完成。外部の住民を含め 300 数十世帯が入居。パネル 2～3 枚で構成

(II) 昭和の激動と荻窪・・・住宅地としては珍しく激動の舞台に

・荻窪にもあった 2・26 事件 担当・松井

※菊野氏の話では、2・26 事件直後、兵士達が JR に乗り込んできたのを菊野氏の父が目撃したという

- ・空襲（疎開） 担当・菊野、新倉
- ・原水禁署名運動 担当・松井

※杉並中央図書館脇の体育館にある「オーロラの碑」は原水禁運動の記念碑であることを含め紹介

※2・26、空襲、原水禁運動についてパネル5枚程度でまとめる

(Ⅲ) ゆかりの人々（パネル～7枚）

- ・棟方志功、鈴木信太郎、山口泉、近藤富枝、三谷十糸子、池田淑人、明田川孝、小茂田青樹、明石亀太郎 担当・新倉

- ・江田三郎（政治家）1907年7月29日～1977年5月22日（69歳）

※東京商科大を中退、農民運動に投じる

※1950年参院議員に当選、参院議員2期、衆院議員4期

※1960年に日本社会党書記長、構造改革論を唱え1962年に「江田ビジョン」を発表するも、党内左派の批判を浴びる。浅沼稻次郎暗殺後に日本社会党委員長代行、日本社会党副委員長、1977年社会党を離党し新党「社会市民連合」を結成。初代の社会市民連合代表となるも直後に死去

※長男の江田五月と杉並区のアパートに住む（場所は不明）

- ・朝永振一郎（物理学者）1906年3月31日～1979年7月8日（73歳）

※西田小の南側に住む。息子が通った松溪中のPTA会長。その後、武蔵野市に転居（武蔵野市名誉市民）

※東京生まれだが、父・三十郎の京都帝大教授就任に伴い京都市に転居。京都一中、第三高等学校、京都帝大理学部物理学科を卒業。湯川秀樹と中学、高等学校、京都帝大とも同期入学・同期卒業。（中学までは湯川より一学年上だったが、後に湯川が飛び級で追いついた）

※1941年、東京文理科大学（東京教育大の前身）教授、1949年に東京教育大教授。1956～1961年、東京教育大学長、1963～1969年、日本学術会議会長

◎「荻窪の記憶 V～荻窪 100 年の歴史」第 5 回打ち合わせ結果

日時：2022 年 9 月 14 日（水）午前 10 時～13 時 30 分

場所：区民センター打ち合わせ室

出席：サポーター・松井、新倉、丸川、木村

区民センター協議会委員・菊野、伊藤、松崎

郷土博物館分館・市川

①「荻窪の記憶」最終編の担当

松井氏が作成したパネル展最終編の構成に従って担当者を割り当て。

・はじめに 松井

(I) 駅（鉄道）・商店街・団地・・・インフラから町の発展をたどる

(パネル総数 約 27 枚)

○駅（鉄道）(JR、都電、地下鉄、南口、北口、西口の開設、複々線化、踏切、ラッシュ・・・)

担当の新倉さんより「荻窪駅の歴史」「荻窪のバス路線」「都電杉並線」「地下鉄荻窪線」「天沼陸橋」「バス通り」「荻窪 戦災の記憶」のパネル案が示された

(パネル 10 枚) 担当・新倉

○商店街

・南口（お屋敷町と商店街）

担当の菊野さんより「荻窪南口商店街の特徴」「商店街のはずれに文化・娯楽施設やモダンなアパート」が示された。パネル展示では①繁田園・元店長の記憶による「荻窪南口商店街の地図」②商店街の写真③お屋敷町・荻窪南口商店街の特徴④商店街と文化・娯楽施設一を予定しているという。

(パネル 4～5 枚) 担当・西村・菊野

・北口（強制疎開→闇市→マーケット→タウン・セブン）

担当の松井さんより以下のパネル案が示された

① 原点は戦後のマーケット

② 昭和 28 年の調査によるマーケット地図

③ 中央線のアメ横

- ④ タウンセブンの誕生
- ⑤ 昭和の面影を求めて
- ⑥ 銀座街の盛衰
- ⑦ 荻窪とラーメン

(パネル7枚) 担当・松井、丸川

・川南・旧環八 (盛衰)

(パネル2枚) 担当・新倉

○団地 田んぼから生まれた戦後の象徴

① 団地ができる前の田畑

- 1) 田圃の北東、別荘地から関東大震災後住宅地となった現
荻窪3・4丁目
- 2) 戦後、荻窪団地が建つまで

② 荻窪団地の出現

- 1) 従来から住んでいる人々はどのような感想を持ったか
- 2) 新築した団地に入居した人たちはどんな人で、団地や近
隣をどのように感じたか。

③ その後

④ 荻窪団地を建て替え、シャレール荻窪へ

(パネル3枚) 担当・木村

※戦後の住宅難を解消するため初めての集合住宅(団地)が1958年に完成。外部の住民を含め300数十世帯が入居。

(II) 昭和の激動と荻窪・・・住宅地としては珍しく激動の舞台に

(パネル総数 7枚)

・荻窪にもあった2・26事件 (パネル2枚) 担当・松井

・空襲(疎開) パネル3枚 担当・新倉

・原水禁署名運動 (パネル2枚) 担当・松井

※杉並中央図書館脇の体育館にある「オーロラの碑」は原水禁運動の記念碑であることを含め紹介

(III) ゆかりの人々 (パネル～7枚)

・棟方志功、鈴木信太郎、山口泉、近藤富枝、三谷十糸子、池田淑人、明田川孝、小茂田青樹、明石亀太郎 担当・新倉

・江田三郎（政治家）1907年7月29日～1977年5月22日（69歳）

※長男の江田五月と杉並区荻窪1-108の木造アパートに住む

・朝永振一郎（物理学者）1906年3月31日～1979年7月8日（73歳）

※西田小の南側に住む。息子が通った松溪中のPTA会長。その後、武蔵野市に転居（武蔵野市名誉市民）

※東京生まれだが、父・三十郎の京都帝大教授就任に伴い京都市に転居。京都一中、第三高等学校、京都帝大理学部物理学科を卒業。湯川秀樹と中学、高等学校、京都帝大とも同期入学・同期卒業。（中学までは湯川より一学年上だったが、後に湯川が飛び級で追いついた）

※1941年、東京文理科大学（東京教育大の前身）教授、1949年に東京教育大教授。1956～1961年、東京教育大学長、1963～1969年、日本学術会議会長

※量子電磁力学の発展に寄与した功績で1965年ノーベル物理学賞を受賞

・宮田輝（アナウンサー）1921年12月25日～1990年7月15日（68歳）

※1953年から1973年まで通算15回にわたってNHK紅白歌合戦の司会を務めた

※1974年にNHKを退職、同年の参院選に自民党から立候補、トップ当選。参院議員（3期）を務めながらフリーアナウンサーとしても活躍。参院議員在職中に死去

※荻外荘そばのNHKアパート（今はなし）に住む

・竹下彦一（柔道家、詩人）

※「カルバトスの会」の中心メンバー、日大二高体育教師

・安藤利吉（陸軍大将）

※名前の利吉は未確定。場合によっては除外

(IV) 消えた風景・失われた記憶

(写真展示中心にパネル 6 枚程度)

- 1 荻窪の発展と水（善福寺川、千川用水分水、天水田圃、境掘）担当・丸川
- 2 荻窪の名建築（荻窪電話局、市川、川原、菊野邸など）担当・木村
- 3 荻窪トピックス（長屋門、映画館、ラーメン店、ローラスケート場など）担当・未定

※関連する古い写真を集めるため「わたしのおぎくぼ」次号で募集

※以上パネルは（Ⅰ）約 27 枚、（Ⅱ）7 枚、（Ⅲ）7 枚、（Ⅳ）6 枚で計 47 枚程度。区民センターでの展示が無理な場合は（Ⅳ）を除く

※荻窪地域区民センターロビーでの展示は 12 月 14 日（水）～1 月 16 日（月）

郷土博物館分館での展示は 1 月 21 日（土）～3 月 22 日（水）の予定

※次回打ち合わせは 10 月 20 日（木）10：00～
区民センター打ち合わせ室にて

（以上）

資料11-1



お知らせ

サイトマップ

- 2022.09.27 [広報紙「わたしのおぎくぼ№359 10月・11月号」\(9月27日発行\)](#)
- 2022.09.27 [11月9日\(日\)開催 フライパン1つでできるフランス料理講座](#)
- 2022.09.26 [11月6日\(日\)開催 東大アプリで考える首都直下型地震72時間](#)
- 2022.09.26 [11月5日\(土\)開催 荻窪音楽祭/地域ふれあいアフタヌーンコンサート\(当日先着順60名\)](#)
- 2022.09.26 [10月30日\(日\)開催 マルシェ&ハロウィン子どもまつり](#)
- 2022.09.07 [10月23日\(日\)開催 防災フォーラム プログラム1 防災講演会](#)
- 2022.09.07 [10月23日\(日\)開催 防災フォーラム プログラム2 防災体験ゲーム](#)
- 2022.08.24 [10月6日・13日・20日・27日\(各木曜日・4回\)開催 いきいき朗読教室 会場:本天沼区民集会所](#)
- 2022.08.23 [10月6日\(木\)開催 武蔵野の自然探訪「善福寺池の四季」第2回](#)
- 2022.08.22 [9月24日\(土\)、25日\(日\)開催 第44回アート展\(開催報告あり\)](#)
- 2022.08.02 [9月17日・24日・10月1日・8日\(各土曜日・4回\)開催 初心者のための俳句教室](#)
- 2022.08.02 [9月17日\(土\)、10月1日\(土\)開催 文学講座「与謝野晶子と源氏物語」\(開催報告あり\)](#)
- 2022.07.26 [9月15日\(木\)文学講座「アメリカ文学は夫婦愛から始まる」\(開催報告あり\)](#)

[「お知らせの履歴」を見る](#)

これからのスケジュール

- 10月**
 - 6日(土)「善福寺池の四季・第2回」現地集合
 - 6日・13日・20日・27日(日)「いきいき朗読教室」会場:本天沼区民集会所
 - 23日(日)「防災フォーラム」
 - 30日(日)「マルシェ&ハロウィン子どもまつり」
- 11月**
 - 5日(土)「荻窪音楽祭」
 - 「地域ふれあいアフタヌーンコンサート」吉久亜紀トリオあきから
 - 6日(日)「東大アプリで考える首都直下地震72時間」
 - 9日(土)「フライパン1つでできるフランス料理講座」
 - 24日・12月1日(日)「大人のワイン講座」
 - 26日(日)「荻窪健康センターと共同開催「荻窪健康サロンin荻窪地域区民センター」
 - 27日(日)「秋を楽しむ木の実工作教室」
 - 29日(日)「広報紙「わたしのおぎくぼ」№360 12月1日号発行」
- 12月**
 - 2日・9日・16日(日)「歪肩を整えよう!腰痛スッキリ体操」
 - 6日(土)・11日(日)「当センター1Fロビー」
 - 「杉並区区制施行90周年記念事業」
 - 「原水爆禁止署名運動パネル展」
 - 11日(日)「荻窪寄席(金原亭馬玉・翁家和助)」
 - 14日(土)・1月16日(日)「当センター1Fロビー」
 - 「パネル展「荻窪の記憶」〜荻窪100年の歴史」
- 令和5年1月・2月**
 - 1月12日(土)「善福寺池の四季・第3回現地集合」
 - 1月21日(日)・3月22日(日)「パネル展「荻窪の記憶」〜荻窪100年の歴史」会場:郷土博物館分館
 - 1月28日(日)「地域懇談会」
 - 1月31日(日)「広報紙「わたしのおぎくぼ」№361 2月・3月号発行」
 - 2月26日(日)「本天沼集会所まつり」会場:本天沼区民集会所

※イベント、講座等は変更になることもあります。
 ※会場が明記されていないものは全て、会場は荻窪地域区民センターです。

※問い合わせ先 ● 事業企画部 ● 地域交流部 ● 広報部 ● 総務部

第1回協議会活動検討会(討議内容メモ)

2022.9.26

(文責：茂木)

第1回検討会、9月6日(火)、午後1時より(第1・2集会室)

1 検討会での今後のプランを紹介(茂木)

(1) 毎月最初の部会の日を検討会の日とする。

(2) 構成員：役員+希望者

当日参加者：茂木、萬、恵羅、横尾、伊藤(監事)、船津、杉原、杉浦、上田、香取、
熊谷、菊野、弘中、西村 (順不同、敬称略)

オブザーバー：事務局吉川、岩井、鈴木

(3) 目標：年内をめどに取りまとめ、区にも提出する。

(4) 概要

① (中・長期的な協議会の活動方向を検討会で考える

これからの協議会の活動報告について、センターの改修内容が未定な段階ではあるが、活動している中で考えていること、これまでの経験を踏まえて、たたき台をつくりまとめていく。

② 検討の対象

①協議会として我々は何をしたいのかを考える。

②改選期を迎え、これからの委員も①に合わせて、活動規模の問題やどういう人になっていただくか、こういう方向なので皆さん集まってくださいというところを打ち出していく。

③指定管理者制度について、現状の動き、杉並区の考え方を確認する。
また他の協議会の事例を踏まえて議論する。

④センター改修について、ハード面についても今までの経験を踏まえて要望を検討する。

例えば、会場設定での日頃感ずる備品移動の負担軽減(ELVが一台という制約、水平・上下の移動対策)

構造形を大きく変更できないなか、構内のデザイン変更などで、利用者の立場に立った工夫の余地はないか(委員の中の専門家から参考意見を出していただく)など。

(5) 改修中の活動について考える。

① 改修期間(予定) 令和6年4月～

本天沼集会所は、令和5年4月～

改修後は、「コミュニティふらっと」として運用。

天沼区民集会所は、令和5年10月～令和6年4月

改修後は、児童相談関連及び会議室として運用。

⇒協議会の活動の根拠(場所)に対する区の配慮が望まれる。

② 代替施設 (予定) 荻窪会議室 (講座対応:洋室・和室)

他の地域区民センター

場合によっては、特養フェニックス1F地域交流スペース

※運搬費、交通費などの予算が必要になる。

③ 活動内容 改修中にどのような活動をしていくことができるか、していくかなど活動の内容を考えていく。

2 委員の意見(概そ、発言順)

(1) 伊藤監事

荻窪センター改装で望むこと

① 障害者用トイレ設置、②Wifiの完備、③放送設備の充実、舞台性の確保(1階部分、体育室の整備でもよい)

④運営の仕方住民同士の連絡・コミュニケーションセンター・住民ベースでの連絡の場となること：地域懇談会もそのようなものに改編。

(2) 西村委員

・協議会委員の確保 来年の4月にどれだけ在籍できるか。

・働く年齢の高齢化と協議会活動の調整、現行の毎週活動などあり方の抜本改革が必要。

・委員募集の広報姿勢にも関わってくる。

(3) 杉原委員

・委員の推薦母体への依頼のあり方、現委員卒業時には後任紹介を。

・インターバルを置いての委員再任用のことなど確認。

・講座、イベント参加者への委員勧誘なども。

・当協議会の管内で、最適な場所を引き続き検討を。

・指定管理者制度を前提とする場合には、①お金の問題 ②人員の問題 ③管理運営の問題を通して、組織体として利潤が絡んでくる。そのあたりをどう調整していくのか。

(茂木注：これは施設としてのセンターと協議会活動全体を誰が管理運営(=経営)しているのかという課題と絡んでいる。区の政策と政策効果に関する評価とのリンクの問題でもある。)

(4) 萬委員

・改修時休館時対策を真剣に取り組むべき。

- ・PTA、町会などへの積極的働きかけ
- ・現行作業量が大きすぎ、期待値と大きな乖離。知り合いを誘いにくい
- ・協議会活動のあり方、それに準じた規約の見直しが必要になるのではないか

(5) 恵羅委員

- ・ポテンシャルな委員不足問題：PTA でさえ人集めに困難な状況にある点などを考慮）任期面での現行規約の運用や任期の見直しが必要（なぜ4年なのかを問うべき）、指定管理者制度もこの側面も含めてきちんとした位置づけが必要。
- ・改修期間中は、活動が十分に行えないおそれがあること、しかし、委員の活動を継続性していくことの必要性から活動場所の確保が必要。
- ・逆に工事期間中、じっくり考えるときとしてもよい。

(6) 熊谷委員

協議会は、区の施設と活動資金を利用して、たとえバググラウンドのないものでも活動できる貴重な機会でもある。

区と民間では、発想を異にするので、そこに住民にとっては妙味がある筈である。

(7) 船津委員

もっと楽しく事業を進めたい。委員が楽しくなければ、参加者の楽しさも減少する。委員が楽しんで事業を行うような活動。

改修があると活動に空白ができるのでは。

また、参加するのに適当な年齢と制度（再度の参加）

(8) 杉浦委員

指定管理制度とはいったいどんなものであるかの委員の理解が必要である。

協議会委員の立ち位置を変更するとして、どういう活動が求められるのかを考える。

(9) 茂木会長

西荻・円卓会議に出席したが、東急コミュニティから参加者の様子から、指定管理者側のスタンスが奈辺にあるかと興味をもった。指定管理者のあり方は各地区で様々。うまく補完できているところもあるように見える、あるいはそのように工夫してきている。

他の自治体でのセンターと協議会のあり方の実態は知っておきたい。世田谷、武蔵野市では、協議会が指定管理者になっている場合もある。センターの性格（規模が小さいか？）、協議会等住民組織の性格が違うのかも知れず、ヒアリングなど行いたい。

⑪ 弘中委員

協議会に参加して初めて分かったことが多い。これはボランティアなのかと（ボランティアの定義は各国で違う）。かなり負担が大きく、有償ボランティアの世界ではないか。

活動体を2層に分けて、企画・運営責任組織と実働部隊に。いまはすべてを協議会委員（勿論、事務局の支援を受けて）がやっている。建付けを知ってもらったうえで実働

部隊に参加するひとを募ってもよい。その人たちが委員になったり、サポーターになったり出入りがあってもよい。

(10) 上田委員

忙しいばかりで楽しむことができない。活動内容の見直しが必要。

(11) 香取委員

区民集会所がなくなるか、使用の規模が小さくなる場合もあると聞いている。センター機能のことか、協議会活動の問題か、区別の必要があるが、住民活動の拠点確保という観点からの検討も必要に感ずる。

(伊藤委員より補足：住処だった清水町では、町会自体が会館をもっている。荻窪の南地区では拠点が少ないように感じている。その意味でのセンターの意義を考えてみる必要がある。)

・改修期間のあった西荻での対応を確認したい。

(12) 菊野委員

・住民の意見も反映させて、いろいろな講座の展開ができればよいと思っている。
プッシュ型とプル型どちらも。協議会のあり方の問題は当然に議論したい。

令和5年度会長選出スケジュール（案）

資料13

令和4年9月27日 委員会資料 総務部

令和4年11月2日（火）

委員会において推薦書・自薦書を配布

- ・会長候補者1名を推薦あるいは自薦する

推薦書は全委員に配布する。自薦書は23期委員にのみ配布する

注：推薦書・自薦書は記名式（記名がない場合は無効）・提出は任意

- ・提出期限 11月15日（火）12時
- ・提出先 事務局

令和4年11月15日（火）

13時に会長と総務部長で開封

11月21日（月）までに、会長が推薦を受けた方の意思を確認する

令和4年11月22日（火）

全体部会で候補者名を報告

令和4年11月29日（火）

定例委員会において信任投票または選挙

- ・候補者一人の場合は、信任投票する
- ・候補者二人以上の場合は、選挙を行う

投票は無記名とし、出席委員の過半数の賛成をもって決定する（会則第15条8項）

投票前に委員会の成立（構成員の過半数の出席、会則第15条6項）を確認する。

◎委員会で、公表。

注：新会長は12月から役員会に出席し、次年度の事業計画策定と予算編成に積極的にかかわる。なお、新副会長選任後は新副会長も役員会に参加する。

<副会長、部長、副部長、会計監事の選出>

副会長：新会長は、12月13日（火）までの全体部会で副会長若干名を推薦し、12月20日（火）の定例委員会で承認する。

部長：12月9日（金）までに部会を開催し部員の互選で決定する（会則第10条3項）。

副部長：新部長が新会長と相談して、必要があれば指名する。

会計監事：次年度の委員配置が決まった段階で、会長が推薦し委員会で決定する。なお、各期から1名ずつの選任を原則とする。

23期・24期新体制のスケジュール

区分	10月	11月	12月	1月	2月	3月
23期新役員選任	<p>新役員候補者の精査・互選</p> <p>※互選の方法。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■会長・副会長・会計監事：委員の互選 ■部長：部員の互選 	<p>12月9日送決定。 12月13日全体部会で報告</p>	<p>以後は役員会にも出席する。</p>			
24期新委員募集広報すなみ掲載	12/15	11/18 校正	12/15 発行			
	1/15	11/8 事務局	12/14 校正	1/15 発行		
24期新委員募集						
24期新委員面談通知発送						
24期新委員面談						
23期新委員決定通知発送						

想定されるセンター関連施設整備予定

資料14

1 地域区民センター等の整備



① 荻窪地域区民センター改修(長寿命化)

荻窪地域区民センターは、設計をR5年度内に行い、R7年7月開館を目指す。

施設名/年度	R 4	R 5	R 6	R 7
荻窪地域区民センター	運用 	設計 (12か月)	工期 (12か月)	開館・運用 

② 本天沼区民集会所・(仮称)コミュニティふらっと本天沼

本天沼区民集会所は、R5.3で廃止。(仮称)コミュニティふらっと本天沼はR6年4月開館を目指す。

施設名/年度	R 4	R 5	R 6	R 7
本天沼区民集会所	運用 	廃止		
/(仮称)コミュニティ ふらっと本天沼	設計 (10.5か月)	工期及び準備	運用 開館 	運用

③ 天沼区民集会所

天沼区民集会所は、R5.9末で廃止。改修工事し、一部をウェルファーム会議室としてR6から運用。

施設名/年度	R 4	R 5	R 6	R 7
天沼区民集会所	運用 	廃止 		

2 センター改修時の代替施設(想定)

荻窪会議室 (南荻窪2丁目28番13号)

洋室40名(72㎡) 和室30名(22畳)

改修を経験した協議会の活動状況

1 西荻地域区民センター協議会(改修期間R元.6～R2.11)

			30年度		R元年度		R2年度		R3年度	
委員数 (年度末)			定数	実人数	定数	実人数	定数	実人数	定数	実人数
			38人	29人	38人	19人	38人	18人	38人	20人
運営会議	役員会	定例	12回		11回		10回		12回	
		臨時	0回		0回		0回		0回	
		計	12回		11回		10回		12回	
	委員会	定例	12回		11回		10回		12回	
		臨時	0回		0回		0回		0回	
		計	12回		11回		10回		12回	
	部会		160回		132回		66回		103回	
計		184回		154回		86回		127回		
事業内容	講座・教室等		回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
			29回	701人	4回	152人	2回	51人	5回	121人
	協働事業		9回	1,446人	10回	2,048人	3回	177人	4回	246人
	集団事業(まつり等)		8回	5,387人	1回	952人	0回	0人	1回	35人
	地域懇談会		2回	68人	2回	59人	1回	43人	1回	33人
	懇談会(上記除く)						1回	29人		
	計		48回	7,602人	17回	3,211人	7回	300人	11回	435人
センター報発行		発行回数	発行部数	発行回数	発行部数	発行回数	発行部数	発行回数	発行部数	
		6回	57,000	4回	38,000	4回	38,000	4回	9,500部/回	

○元年度 センターまつりは、改修のため中止。

○2年度 センターまつりは、コロナのため中止。

10の協働事業をコロナのため中止。

○改修のため、委員数は、少なかったとのことある

2 高円寺地域区民センター協議会(改修期間R3~R5)

項目		R元年度		R2年度		R3年度		
委員数 (年度末)		定数	実人数	定数	実人数	定数	実人数	
		32人	25人	32人	24人	32人	24人	
運営会議	役員会	定例	11回	12回	11回			
		臨時	0回	0回	0回			
		計	11回	12回	11回			
	委員会	定例	11回	8回	7回			
		臨時	0回	1回	0回			
		計	11回	9回	7回			
	部会		152回	179回	141回			
計		174回	200回	159回				
事業内容	講座・教室等	回数	参加人数	単位・回	参加人数	単位・回	参加人数	
		20回	478人	11回	190人	13回	146人	
	協働事業		10回	4974人	2回	111人	3回	73人
	集団事業(まつり等)		5回	4140人	3回	1300人	2回	414人
	地域懇談会		1回	91人	1回	45人	1回	0人
	懇談会(上記除く)						1回	0人
	計		36回	9,683人	17回	1,646人	18回	341人
	七夕報 発行	発行回数	発行部数	発行回数	発行部数	発行回数	発行部数	
6回		60,000	6回	10,000 部/回	5回	9,700部/ 回		

- 3年度 総会を区役所6階第4会議室で開催
 蚕糸の森まつり2022 中止
 協働事業 わいわい和田まつり 中止
 子どもフェア 中止
 集団事業 セシオン杉並まつり 中止 (4年度中止)
 きたきた高円寺まつり 中止
 阿波踊り体験講座 中止

- 4年度 総会を阿佐谷地域区民センターで開催
 セシオン杉並まつり 中止

3 荻窪地域区民センター協議会

			30年度		R元年度		R2年度		R3年度	
委員数			定数	実人数	定数	実人数	定数	実人数	定数	実人数
(年度末)			38人	30人	38人	24人	38人	21人	38人	23人
運営会議	役員会	定例	12回		12回		12回		12回	
		臨時	0回		0回		0回		0回	
		計	12回		12回		10回		12回	
	委員会	定例	12回		11回		11回		12回	
		臨時	0回		0回		0回		0回	
		計	12回		11回		11回		12回	
	部会		250回		180回		152回		188回	
計		274回		203回		175回		212回		
事業内容			回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
	講座・教室等		31回	1,044人	35回	1,129人	10回	458人	12回	555人
	協働事業		20回	3,835人	17回	1,944人	7回	402人	13回	547人
	集団事業(まつり等)		4回	3,250人	3回	3,120人	1回	1,320人	1回	700人
	地域懇談会		1回	40人	2回	89人	1回	55人	0回	0人
	懇談会(上記除く)						1回	20人	2回	40人
	計		56回	8,169人	57回	6,282人	20回	2,255人	28回	1,842人
	セウ-報発行		発行回数	発行部数	発行回数	発行部数	発行回数	発行部数	発行回数	発行部数
		6回	60,000	6回	60,000	6回	60,000	6回	11,000部/回	

コロナによる中止・縮小事業

○令和2年度

- ・センター祭り 2日間⇒1日
- ・本天沼集会所まつり 中止
- ・地域ふれあいマチネコンサート 中止
- ・アート展 中止
- ・さいえんす縁日 中止

○令和3年度

- ・本天沼集会所まつり 中止
- ・アート展 中止
- ・さいえんす縁日 中止